

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科 プレイヤーコースベース専攻											
専攻実技3											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	永田範正			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
<p>多様なサウンドスタイルにもベースは必要不可欠である。また、自作曲、所属バンド、アーティストのステージサポート、レコーディング等、様々なシチュエーションにおいて、的確な演奏、最良の音色を奏でることは必須である。さらに、最良の音源やステージを作り上げるためには、それにふさわしい態度が求められる。これらを踏まえ、本授業ではベーシストとして必要な知識、スキルを幅広く学ぶ。</p>											
到達目標											
<p>ベーシストとして必要な基礎的なフィンガー、ピック、スラップ奏法とフィンガリングを習得する。所有楽器とアンプ等機材の構造とメンテナンス方法を知り、理想の音色を奏でることができる。リードシートのコードネーム、音符、進行等の情報を瞬時に把握し、それらをもとに的確なベースライン作りができる。音源制作、アンサンブル時に、最良のクオリティーになるよう、ふさわしい態度でのぞむことができる。</p>											
授業方法											
<p>楽器のチューニング、ウォーミングアップ等の準備をしたうえで、練習フレーズでのスキルアップ、読譜による既存ベースラインの習得と初見演奏の訓練、リードシートを見てオリジナルのベースライン作り等をおこなう。授業外で作成した自作曲のブラッシュアップ（マイプロジェクト）、ショーケースでの演奏曲のアドバイス、サポート演奏曲のアドバイスもおこなう。</p>											
成績評価方法											
<p>試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)</p>											
履修上の注意											
<p>専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
講師作成のリードシート、課題曲のリードシート。											
回数	授業計画										
第1回	16分音符主体のフィンガー奏法。										
第2回	チャーチモードスケールを2種類のポジション（人差指から、小指から）で弾く。										
第3回	16分音符主体のピック奏法。										

専攻実技3

第4回	オルタードテンション、分数コードの分散和音。
第5回	16分音符主体のスラップ奏法。
第6回	読譜（初見演奏）の練習その1。スロー、ミディアムテンポ。
第7回	読譜（初見演奏）の練習その2。アップテンポ。
第8回	リードシート初見でのベースライン作りその1。ルートを中心としたアプローチ。
第9回	リードシート初見でのベースライン作りその2。セクションを意識したアプローチ。
第10回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその1。
第11回	自作曲または課題曲のベースラインのブラッシュアップその2
第12回	授業内理解度チェックと演奏発表。
第13回	授業内理解度チェックと演奏発表における各自の問題点の修正。
第14回	速いパッセージのアドリブ演奏。
第15回	前期のまとめ。